

ARK Fluor Ab C/G - FITC

消化管寄生原虫であるクリプトスポリジウムとジアルジアを同時にFITC蛍光染色できる抗体試薬です

製品内容

- 容量 : 1.7 ml (フィルター染色時に若干多めの110 μ l/回で15回程度使用できます)
- サブクラス : IgG
- 溶液組成 : 希釈不要で直ちに染色に使用出来る×1濃度です
(染色操作がより安定するように1回分の液量を若干多めにしました)
抗体安定化剤、防腐剤を添加しています
- 適用 : 免疫蛍光染色法
- 保存 : 2~8 $^{\circ}$ C ※凍結しないで下さい
- 使用期限 : 製品ラベルに記載

使用例1

※ 河川水等検査の詳細は、『水道における指標菌及びクリプトスポリジウム等の検査方法について』
【健水発第0330006号通知(一部改正 平成26年3月31日健水発0331 第6号)】をご参照下さい。

メンブレンフィルターを用いた直接染色 (15回分/本)**-プロトコル-**

- ↓ サンプルを ϕ 25mm PTFEフィルターでろ過する
- ↓ PTFEフィルターをPBSで洗浄する
- ↓ PTFEフィルターをブロッキング剤(BSA等)でブロッキング処理する
- ↓ PTFEフィルター上に本製品110 μ l程度を添加し、全体に行き渡らせる
- ↓ 湿潤箱にて、室温暗所で30分反応させる
- ↓ (必要により、反応終了5分前にDAPI染色液100 μ lをPTFEフィルター上に添加する)
- ↓ PTFEフィルターをPBSで洗浄する
- ↓ 蛍光試料用水性封入剤で封入する
- ↓ 蛍光顕微鏡(B励起)で蛍光観察

使用例2

ウェルスライドを用いた直接染色 (30回分/本)

-プロトコル-

- ↓ サンプルをウェルスライドに移し、乾燥させる
- ↓ エタノールもしくはメタノールを 100 μ L程度加え、乾燥させる
- ↓ 本製品を 50 μ L程度を添加し、室温暗所で30分反応させる
- ↓ ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する
- ↓ ウェルスライドに静かに洗浄液を加え、1分間静置する
- ↓ ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する
- ↓ (必要により、DAPI染色液 50 μ Lをウェルスライド上に添加し、5分間静置する)
- ↓ (ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する)
- ↓ (DAPI染色した場合、洗浄液を加え、1分間静置後、ピペットで、慎重にウェル上の液体を除去する)
- ↓ 蛍光試料用水性封入剤で封入する
- ↓ 蛍光顕微鏡(B励起)で蛍光観察

参考文献

1. 八木田 健司ら, 迅速診断を目的とした抗ジアルジアモノクローナル抗体の作製, 第80回日本寄生虫学会大会, 2011年3月
2. 泉山 信司ら, 蛍光抗体染色用の抗クリプトスポリジウムモノクローナル抗体の開発, 第81回日本寄生虫学会大会, 2012年3月
3. 扇田 裕允ら, 国産クリプトスポリジウム検出モノクローナル抗体蛍光抗体染色試薬の評価, 第39回日本防菌防黴学会大会, 2012年9月
4. 安富 友貴ら, クリプトスポリジウム等検出のための新しい蛍光抗体染色試薬の評価, 平成27年度全国会議(水道研究発表会), 2015年10月



アーク・リソース株式会社

<http://www.ark-resource.co.jp>

製品に関するお問い合わせは、
弊社CG担当までご連絡下さい。
TEL(0964)46-3773 FAX(0964)46-3743